

(参考)

1. インターン事業終了後の交流展開（事例）

(1) とよねサポーターズ（愛知県豊根村）

豊根村では、豊根村に関わり続け、交流を継続して進めながら様々なサポート活動等を行う任意団体「とよねサポーターズ」がインターンOB等により設立されている。

学生を中心とした主に20代のメンバーによって構成され、行事の手伝い、訪問・交流が続けられている。

(2) みやはら好きねっと（熊本県氷川町（旧・宮原町））

平成16年11月に「宮原好きネット」を設立。これまで宮原町に関わってきた体験調査員を含め、会員数は60名を超える。宮原町の情報発信、会員相互の交流・情報交換のほか、ゼミ合宿等を受け入れる主体として活動している。

また、TMO「宮原まちづくり（株）」の立ち上げに際してインターンOBが株主となり、企画・運営にも携わっている。

(3) 竹田特派員制度（大分県竹田市）

受け入れたインターンを竹田市特派員として任命し、親善大使的な役割をしてもらうとともに、情報の相互交換を行う。また、本事業を通して知り合った学生が意見交換をする場としてインターネット上に掲示板を作成。活発に意見交換がおこなわれている。

(4) 応援団結成（徳島県美波町（旧・由岐町））

都市でのPR活動を行うために町で応援団を結成。受入れたインターンも一員となっている。また、町で行われたシンポジウムにパネリストとしてインターンを招聘するなど積極的に交流をおこなっている。

2. その他

(1) 本事業を実施した市町村のうち、その後、独自のインターン受入事業を実施している事例。（山形県飯豊町、福島県川俣町、長野県泰阜村、愛知県豊根村、奈良県川上村、島根県浜田市（旧・旭町）、島根県江津市、島根県津和野町、徳島県勝浦町、熊本県氷川町（旧・宮原町）、熊本県小国町、熊本県人吉市、大分県竹田市、宮崎県西米良村、鹿児島県大口市・菱刈町 等）

(2) インターン事業を契機に、その後派遣地に定住した事例。（熊本県小国町）